

国際的な産学官連携活動の促進にむけて (スライド1)

研究成果の魅力度

国内企業は海外欧米アカデミーでの研究成果により大きな興味を示す傾向が見られる
海外欧米のアカデミーでの対応とその研究成果は 次のような諸点でより強い魅力・吸引力を持つ

- a) 研究成果の価値が評価しやすい、
- b) リスクの範囲と展望、リスクへの対応策
- c) ひとつの研究成果からさらなる研究拡大と発展への契機となりやすい
- d) システムとしての総合評価が行い得て付加価値が大きい
- e) 契約折衝が行やすい: 臨機応変、スピーディ、One-stop-full/total-service

対応に際しての整備・活動諸条件

必要条件: [ハード(モノ)の創出]: すばらしい研究能力と研究成果

十分条件: [ソフト (活動で)]:

選択と集中: 数多くあるモノ(研究成果)の評価・選択と知的資産の集中
大学の方針の設定と、より大きな魅力を選択主題に付加すべくプロデュース
効果的な情報発信、国際ネットワーク・相互信頼ルートの構築
強力な折衝: 研究投資誘致活動、共同研究促進活動
成約後のフォロー 相互の目標達成に向けてwin-winへ

対応するために(組織とヒトの面より)

- (A) 大学アカデミー内での専門組織個々の国際活動面での実力のさらなる増進
- (B) 大学アカデミー内での組織横断型の業務の機能強化・マトリクス業務の受容

国際的な産学官連携活動の促進に向けて (スライド2)

(A) 専門部門(タテ組織)対応能

